



# UEC基金たより

Vol.21 2024年6月発行

平素より、電気通信大学が進める研究教育活動へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学は、サイバー空間と現実社会が高度に融合した「Society5.0」をさらに発展させた本学独自の「共創進化スマート社会」を提唱しており、その実現に貢献し、また自らそれを体現した大学となることを目指して、グローバルな環境下で社会を先導できる人材育成・輩出に努めています。

皆様から、昨年度は約2,400万円の温かいご寄附を賜り、学部生、大学院生合わせて65名に大学独自奨学金を、また、98名に海外派遣等の支援をすることができました。国立大学を取り巻く財政的な状況は厳しさを増しておりますが、本学の責務を果たすべく、挑戦してまいります。

皆様のお力添えを賜りたく、引き続きのご支援を宜しくお願い申し上げます。



学長 田 野 俊 一

## 電気通信大学 (UEC) 基金は、4つの基金で構成されます

### UEC 基金

一番重要な基礎基金です。  
本学のすべての学生（留学生を含む）を対象として、大学独自給付型奨学金事業や海外派遣助成事業に活用します。

右上のQRコードからご寄附いただけます。

また、裏面のご紹介例のように、特定目的の基金もあります。

### 学資支援基金

学生が経済的な理由により修学を断念することなく学び続けられるよう奨学支援、国際交流支援事業に活用します。

右上QRコードからご寄附いただけます。

### 若手研究者 未来基金

不安定な雇用状態にあるポストドク研究者や博士後期課程学生の研究費助成、研究者の能力向上のための支援事業に活用します。

右上QRコードからご寄附いただけます。

### 現物資産 活用基金

土地、建物、有価証券などの現物でのご寄附を募集しています。

## 学生から寄せられた喜びの声

<情報理工学域 1年>

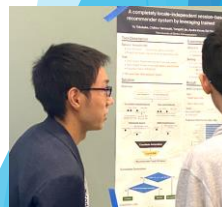
この度、奨学金を授与していただけることを誇らしく思います。この機会を存分に活かし、学業に真摯に取り組み、将来の情報技術分野を発展させ社会に貢献する人材になることを目指して精一杯努力します。

<情報理工学域 4年>

UEC奨学金のおかげで、より勉学に集中することができます。また、さらに研究活動にも熱心に取り組んでまいりたいと思います。今回はありがとうございました。

<情報理工学研究科 博士前期課程1年>

米国カリフォルニア州ロングビーチで開催された機械学習・データマイニングに関する国際会議に参加し、知見を深めるとともに非常に良い刺激を受けました。今回の経験を活かして今後の研究活動や語学学習に邁進していきたいと思っております。会期中にお世話になった多くの方々と、このような機会を与えてくださった電気通信大学基金の支援者様に深く感謝いたします。



# UEC基金の特定目的基金のご紹介



## UECコミュニケーションミュージアム基金



UEC  
コミュニケーションミュージアム  
館長 坂本 真樹 教授

電気通信大学（UEC）は、1918年に創立以来100年以上にわたって国内外の情報通信技術の発展に寄与してまいりました。当ミュージアムでは、業務用及びアマチュア無線設備や航法装置をはじめとする貴重な情報コミュニケーション資産を多数展示し、多くの皆様にご来館いただいております。

今後は新しい情報処理等の分野や学外の博物館との連携など、今まで以上に教育・学術の発展に貢献する運営に努め、皆様に愛され続ける博物館でありたいと願っております。収蔵品の持続的保全と伝承に、皆様のご協力をお願いいたします。

※一定額のご寄附を頂いた方には「UECコミュニケーションミュージアム特製カレンダー」を差し上げます。



## UECダイバーシティ基金

電気通信大学は、DはDiversity、CはCommunication、IはInnovationを意味し、多様性を育みながらコミュニケーションを促進し、イノベーションを起こそうという「D.C. & I. 戦略」を2017年に打ち出しました。これまで多様な個性が力を発揮し共存するため、そして、男女共同参画・ダイバーシティ推進のため活動をしてまいりました。これからも、電気通信大学で過ごす全ての人が個性を大切に、実りある日々を過ごせるように、「UECダイバーシティ基金」を活用していきます。本趣旨にご賛同を賜り、皆様のご支援、ご協力をいただきますよう心よりお願い申し上げます。



男女共同参画・ダイバーシティ  
戦略推進室  
室長 渡邊 恵理子 教授



## UEC国際的人道支援基金



理事（国際・広報戦略担当）  
大家 万明

2022年に「UECウクライナ等国際的人道支援基金」として設立した本基金へこれまで皆さまから厚いご支援を賜り真にありがとうございます。

基金設置のきっかけはウクライナ・ロシア間の紛争でしたが、その紛争も終結しないまま、パレスチナ・イスラエル間にも紛争がおきるなど、現在の世界情勢は常に心配が絶えない状況にあり、人道的支援を必要とする研究者や学生が現れる可能性は増しております。

今後も広く人道的支援が求められる可能性を考慮し、今年度より基金名を「UEC国際的人道支援基金」と改めました。引き続き皆さまからのご支援とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

基金についての最新情報は、Webをご覧ください  
<https://www.uec.ac.jp/kikin/>

